映像学科支部「ゲイダイ今昔」

大阪芸術大学 芸術計画学科 学科長 教授　村上 敬造
映像計画学科 V06-105 卒業生

村上 敬造 芸術計画学科学科長

入学は1976年4月、四国愛媛県宇和島市から大阪芸術大学映像計画学科(当時)に入学し、1980年3月に卒業するまでの4年間を大学で過ごした。

当時の芸大は、現在の大学全体の敷地に比べると7割程度の敷地の中に旧0号館(現在のアートサイエンス学科)から始まり、7号館(現在の映像学科)の建物に加え、A棟と呼ばれるプレハブの実習棟が建ち、現在の8号館、9号館は未整備の状態で近隣の阪南ネオポリス、一須賀そして大学前の場所に学生が下宿するマンション(アパート)や下宿屋が数多く点在する場所だった。

四国の田舎から出てきたはずの私は、それをしのぐ田舎に大学があることを入学直前に初めて知ることになった。当時の学生の大半は、同じような意見を持っていただろう。現在よりもはるかに北海道から沖縄までの各都道府県から大阪芸術大学を目指しやってきた時代である。我々下宿生たちは、外界からある意味隔離されている様な生活環境の中で大学という学問、演習を極める生活を送る事となった。

1976年当時

今思うと逆にその不便さは、学生たちの創造力や集中力に磨きをかけ、結果、目指した業界の中で頭角を現す卒業生を輩出していったことは、誇らしいことである。またその後、芸術情報センターが建設され、図書館も充実。現在0号館の大教室は無くなったが、その敷地を利用しアートサイエンス学科の校舎が建っている。

映像学科で言えば、撮影所が建設され、7号館1階奥のスタジオは映画館として整備され、A棟を含むプレハブ教室は姿を消し、周辺の敷地を整備し、現在では舞台芸術学科の芸術劇場及び舞台芸術学科、そして念願の体育館が整備された。また、当時グラウンドだった場所には、8号館、9号館も建設され、現在では我々が目にした畑の部分はキャラクター造形学科の学舎に様変わりし、A棟の敷地と池の部分は大学のナイター仕様のグラウンドとなっている。このように、60歳を超えるような卒業生たちが学んだ学び舎は、時代のニーズに合わせながら大きく大学の施設、設備及び敷地を拡充しながら現在も発展を遂げているのである。

映画館(旧スタジオ)を望む

卒業生としてまた、芸術計画学科学科長をしながら現在も大学へ通っている日々ですが、今後とも学生たちの夢の第一歩を応援できる大学であり続けていきたいと願っています。

7号館横中庭を望む

7号館旧合同研究室を望む

＜事務局より＞
コロナ渦で止まっておりました総会や記念同窓会は、開催に向け準備を進めています。決定次第、メール及びホームページ等でお知らせいたします。住所変更や入会の方は、映像学科支部事務局まで是非ご連絡ください。

〈問い合わせ〉大阪芸術大学 映像学科研究室 映像学科支部事務局
担当：近藤
TEL：0721-93-3781(代)
支部Mail：v-dousou@osaka-geidai.ac.jp
支部HP：https://v-dousoukai-oua.jimdo.com/